



2006 年は後わずかを残しています。皆様にとって、どんな一年間でしたか。ポーポキにとっては大活躍の一年でした。今回の「ポーポキ通信」では、2006 年を振り返ってみたいと思います。12 月のポーポキ・イベントは、次号でご報告する予定です。

NEW! 「ポーポキ通信」の新しいヘッダー!

ポーポキちゃんには新しい強力な支援者がいます。エリック・ルオングさんです。エリックさんは、「ポーポキ通信」のヘッダーをデザインしてくれました。いかがですか? ご意見をお聞かせくださいね。エリックさんの自己紹介は以下のとおりです。

Eric Luong is a Canadian freelance graphic/web designer and translator living in Kyoto. A regular contributor to Kyoto Journal, he teaches at the Kyoto University of Art and Design and works for the Hosomi Museum.

カナダの出身エリック・ルオンはグラフィック・ホームページデザインや英訳のフリーランサーである。英語の季刊誌京都ジャーナルのスタッフとして仕事をし、京都造形芸術大学の非常勤講師や細見美術館の翻訳者として活躍中。 エリックさん、本当にありがとう!!!

ニュース 鈴木瑞穂さんが紀伊国屋演劇賞を受賞しました!



鈴木瑞穂さんは『岩波 DVD ブック Peace Archives』シリーズでポーポキの声を演じてくださっている方です。お祝いの電話で、ポーポキに対する思いを語ってくれました。「ポーポキの本を早く出して、できるだけたくさんの人に読んでもらいたいですね。新聞を読めばわかりますが、平和のための取り組みは一刻も早くしないとダメ。そうでないと、なんのためにあの戦争を体験してきたかがわからなくなってしまいます。ガンバッテください。」

2006 年 3 月新宿にて↑

日本キリスト教団神戸栄光教会の森 愛子さんより

「さて、今日私たちの教会ではクリスマスミニバザーをしました。婦人会が中心になってクリスマスのさまざまな作品(ケーキ、リース、木のサンタ、カード、オーナメントなど等)を作って教会員に買っていただきました。その収益金をポーポキ・ピース・プロジェクトにささげましょうということに決めておりました。」

5 万円をいただきました。神戸栄光教会のみなさま、本当にありがとうございます!

ポーポキ・ギフトを18人分のご注文！

ハディ容子さんよりご注文をいただきました。YMCA同盟主催のポーポキ・ワークショップに容子さんと息子さんの平和君が参加してくれました。下記のメッセージをいただきました。

「春にポーポキ歩きをやったサラームと、近所の半ノラ猫とのいい写真があるので送ります。サラームが生まれる前からいつもこの場所に陣取っている風格のある猫で、触っても逃げたり引っかいたりしないやさしい猫なのです。」



ハディさん、ありがとうございました！なかなか面白そうなねこですね。

ポーポキの一年間を振り返って・・・

2005.12.26 「ポーポキ通信」No.1

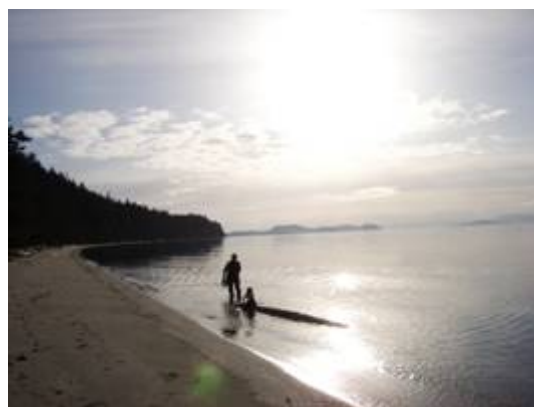
1月 コスタリカでポーポキ

2月 神戸 YMCA 第4回ボランティア講座やラオスでポーポキ



← ラオス

3月 神戸、東京、アメリカでポーポキ



←ワシントン州北部ワルドロン島 ↑



4月 YMCA 同盟でポーポキ↓



5月 神戸市民映画サークルでポーポキ

6月 カナダでポーポキ



7月 南アフリカでポーポキ



YMCA 世界大会 (南アフリカ)



南アでエイズについてのエキスポージャーに参加しました。

8月 ヒロシマ↓、韓国でポーポキ



韓国濟州島 (チェジュド) ↓



9月 Peace as a Global Language でポーポキ

10月 横浜で400人のワークショップやコロンビア大学ティーチャーズカレッジ、国連人口基金、日本キリスト教団神戸栄光教会、YMCA 総主事会、神戸YMCA バザーなど、数々のポーポキ！



TCでのワークショップ



400人のワークショップ（横浜YMCA職員研修）



11月 神戸YMCAピース・リーダーシップでポーポキ

記事は、次号に載せます。



12月 近畿地区国立大学長懇談会でポーポキ

この記事も次号に載せる予定です。



おかげさまでとっても
有意義な一年間でした。
ありがとうございます。
来年も、皆様と一緒に
ポーポキの様々な活動
をしたいと思います。



私にとってのポーポキ

神戸 YMCA 国際ボランティアリーダー会 森 恭子



ポーちゃんとの出会いは、私にとってポーちゃんを取り巻く温かい人達との出会いでもあります。5年前、私は大学院進学のため神戸に来ました。入学当初、持病のため3ヶ月の入院生活に入りました。多くの不安の中でしたが、先生を始め、先輩や友人が病院にかかさず足を運び私を温かく応援して下さいました。

退院後、まったく神戸の生活に慣れていない私を気遣い、先生から「ポーちゃんシッター」を頼まれました。そこからポーちゃんと私のお付き合いが始まります。ポーちゃんのシッターのとき、ポーちゃんはいつも玄関口で先生の帰りを待っていました。ごめんね、私で！！と気の毒に思うほどです。

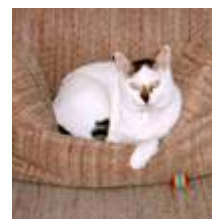
ポーちゃんのお別れは、私が大学院卒業の年でした。できの悪い私を最後まで応援し続けてくれたように思います。ポーちゃんに会うことはできませんが、私はポーちゃん存在を今も感じ続けています。なぜなら、ポーちゃんを通じて多くの人の想いを知ることができるからです。先生がポーちゃんを想う気持ち。それが平和へのメッセージとなり、それぞれの人が平和を想う。そこから誰かが誰かへ想いを馳せるとき、私はポーちゃん存在を強く感じます。私が入院時に多くの人に与えてもらった「人を想う」という温かい気持ちも同じではないでしょうか。



森 恭子さん

森さん、どうもありがとう！

ピースブックは語りかけてくれます。「平和」は小さなところから始まる。そして、ポーちゃんはみんなの心の中にいると。自分では気付いていないことも「平和」への一歩なのかもしれません。それを気付かせてくれるひとつのきっかけとして、ピースブックの活動が広がればと思います。





皆様へ

良いお年を
お迎えください。

来年もどうぞよろしくお願いたします



ポーポキ・ピース・プロジェクト

<http://popoki.cruisejapan.com>

(東京事務所 港区芝 1-4-9 平和博物館を創る会 03-3454-5859)

郵便振替口座番号 00170-9-593927 ・ 口座名称 ポーポキ・
ピース・プロジェクト

ポーポキ平和募金は一〇 1500 円。何〇でも結構です。
(なお、〇数・金額にかかわらず、本はひとり1冊となり
ます。ご了承ください。また、友だち同士や家族でま
とめて2〇以上お送りくださる場合は、参加人数か参加
者名を「通信欄」に明記ください。)



お友たちにも声をかけてくださいね!

